

愛好会通信

徳間ドッジボールスポーツ少年団

保護者会で話し合い

19日(土)夜、稲徳センターで保護者会を開催しました。30人お集まりいただき、熱心に話し合っていました。皆さんありがとうございました。審議決定した活動方針、新役員、活動計画に従って、一致団結、子どもたちの指導・支援に臨みたいと思います。

よろしくお願いいたします。以下、ご報告いたします。

1. スポーツ少年団・愛好会の基本理念 (この基本理念があったからこそ継続できた。)

愛好会設立は1999年4月です。今年で27年目を迎えます。スポーツ少年団加入は2013年4月。

- ①子どもの自主性…心と体の成長、
- ②真剣勝負と交流活動の両立…目標と目的、
- ③監督コーチの集団指導…暴言暴力×、勝利至上主義×、お仕事・家庭の優先
- ④信頼の人間関係…保護者の役割、応援団、資金集め(そうめん・うどん販売)
- ⑤社会体育(社会教育)と学校教育の違い⇒⇒⇒学校との信頼関係

(1) チーム

人数確保が最大の課題…人脈の開拓

楽しいドッジで ⇒⇒ 真剣勝負と
身体作りのドッジ ⇒⇒ 交流のドッジへ

D1、ディライトキッズ (6年6人・5年3人・4年12人)
D2、キッズジュニア (4年12人+フレンドリー456年8人)
D3、フレンドリーキッズ (3年7人・2年2人・1年2人)
U15、中学生(愛好会練習にはOBとして参加、独自の練習日も確保)
※女子チームへの参加は慎重に
※シニアチーム(パパ・ママ)

部活の地域移行



ドッジを地域に普及

選手をリスペクト
する心(尊重)

指導者資格・審判資格
の更新は自己責任

(2) 指導者

代表:1名、顧問:1名、監督:1名、コーチ:5名
マネージャー:9名
県協会:1名 市協会:3名
大会エントリー係(2名)

(3) 審判員

16名+Jr.6名

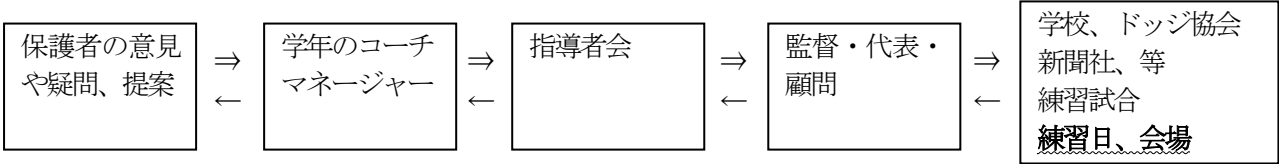
(4) 会計(1名)、会計監査(1名)

年会費の値上げ
審判講習会等の経費、更新費用…愛好会会計から補助 (社会体育館の有料化)
U15指導者資格についてはU15の会計から支出

遠征の交通費集金→県内遠征は会計より出費、県外は集金
ユニフォーム会計（レンタル料）、審判服の管理

- (5) その他
LINE の活用と注意事項、練習欠席の連絡、個人ノート
練習中のケガ、様子がおかしい？→保護者に知らせる→信頼
学校体育施設解放利用登録（徳間小）…3 ヶ月に 1 回、調整会議出席、カギ当番表
社会体育館（古里体育館・昭和の森体育館など）…ネットで予約、

2. 組織（チーム）としての基本



※学年コーチ・マネージャーは保護者の相談役でもあります。

3. 事業、大会予定

オーバーワークに考慮したい。
(略)

チーム構想（組織図） 2025,4

	徳間ドッジボールスポーツ少年団 2013年～						
組織	フレンドリードッジTOKUMA 2002年～		徳間ドッジボール愛好会 1999年～		中学生の部 2024年～	大人の部 2018年～ 審判部	OB会 監督コーチ会
チーム	D 3 フレンドリーキッズ	D 2 キッズジュニア	D 1 ディライトキッズ	U15 NEXUS BEAT	おやじキッズ ママさんキッズ	長野市協会・県協会の 役員、大会運営、財政 基盤、30周年記念準備	
理念	遊びと体づくり ➡ 真剣勝負と交流活動 ➡ 生涯スポーツへ						
	いつでも どこでも 誰とでも・・・そして、いつまでも						
長野市施設 利用登録	(略) 会計監査	(略) 会計監査	(略) 会計監査	(略) 会計監査	社会体育館のネット予約・・・徳間小学校 が使えない時期。		
みらい☆ ハッケン ポイントの 利用	年会費（前期 円＋後期 円） 特別会計として顧問が管理		年会費（前期 円＋後期 円） 特別会計として代表・コーチ（U15会計）が管理する		児童1人につき30,000ポイント利用可能。 なお、ポイントを利用しないで現金で支払 うことも可能。		
スポーツ 保険	年会費より保険金を支出		小・中学生 800円 活動中だけでなく、体育館と自宅との経路往復中のケ ガや事故も補償される。			指導者・審判員も保険加入 1850円 競 技・指導、審判活動中のケガも補償される。 活動見込みのある人のみ加入	

【話し合いの様子】

- ・学校やプラザでドッジボールをやって楽しんでいる。家でもボールを触っている時間が長い。他にも習い事をやっているが、自分から本気になってやりたいと言ってきたのは初めて。膝つきキャッチの大事さが分かってきたようだ。子どもを応援したい。
- ・負けず嫌いでがんばっている。日記を書くのが苦手だが、ドッジボールノートはしっかり書いている。ボールが怖い、突き指が怖い…と言っているが、厳しい世界を乗り越えてほしい。
- ・幼稚園の頃からドッジボールをやって楽しんでいる。1年の頃はコーチに肩車をやってもらって喜んでしたが、今では逞しくなって嬉しい。
- ・1年から入会したが、他の人に譲ってしまったり積極性が足りない。でも最近、「楽しい」から「もっと上

手になりたい」という向上心が芽生えてきた。

- ・サッカーをやっていたが、昨年からドッジボールを始めた。塾の勉強が終わった後、ドッジの練習に来る。ボールが怖い、キャッチできない、などの悩み。

- ・友だちと放課後にドッジボールをやって遊ぶ。いっしょに遊んでくれる友だちに感謝。3年では試合に負ける悔しさも知って成長した。親としてもサポートしていきたい。審判も勉強していきたい。

- ・サッカー、水泳などをやっていたがドッジボールを始めた。叱られて部屋にこもって反省している時もある。コーチから「ナイス、キャッチ。」と褒められると嬉しいし、モチベーションが上がる。

- ・2年の頃は逃げ回ってることが多かったが、3年でキャッチする喜びを知って楽しくなった。家で親子でドッジボールの話をする事が多い。たくましくなって嬉しい、コーチの皆様に感謝している。

- ・2年後半に友だちに誘われて入会。あいさつや礼儀がしっかりしていて感心。良いチームだ。

- ・2年の時、他のスポーツを見学に行ったが乗り気にならず、ドッジボールの体験に行ってやる気になった。ボールが顔面に当たる事があって心配だが、体格がいいので走り込みをして筋肉を鍛えてほしい。

- ・兄の影響でドッジボールが大好きになった。宿題を終わらせてから練習に行くようになった。喜怒哀楽を表情に出さないが、心情は強い。

- ・兄について1年からフレンドリードッジをやってきた。5年になって下級生の模範になろうとしているが体力面が弱く、うまくできない時がある。でも彼なりに頑張っているので、支援していきたい。これまで審判員として試合に参加したが、選手が泣いている姿を見て自分も真剣にジャッジしたいと思った。

- ・昨年、チアフルキッズのいい試合を見た。チームの力はすごいと思った。兄のドッジ生活を振り返ってみると一時的にドッジをやめる時期があった。妹も顔面にボールが当たってトラウマとなり、やめる時期があった。しかし、親は子どもの話を聴いて信じて待つことが大事。ボールのスピードに慣れてくると恐怖心が減少する。長い目で見てほしい。家族がいつも自分を見てくれる安心感、褒めてくれる喜びが子どものモチベーションにつながる。

- ・仕事が忙しい時に皆さんが送迎で協力してくれて感謝している。コーチの皆さんのご指導にも感謝。都合が付く日は審判員としてチームに帯同していきたい。

- ・児童会長に立候補した。ドッジボールで育った「自主性」のお陰だ。キャプテンにも立候補して意欲的に練習している。

- ・昨年は顔面にボールがぶつかり怖がっていたが、やめずに続けている。キャプテンに立候補したことに驚いている。家族としてサポートしていきたい。

- ・ドッジボールは苦手だったが、3年の時にフレンドリードッジに入って大好きになった。今年は最高学年なので全国大会へ出場したい。親としても支えていきたい。

- ・他のスポーツとの両立。習い事を4つ、全部やめたくないと言っている。なるべくドッジに都合をつけて参加したい。体幹が強い。

- ・家族が多趣味。3年になってドッジを始めて夢中になっている。4年の時、D2の試合で勝って自信を持った。いつも下級生を連れてドッジボールをやっている。キャプテンに立候補した。今年こそ全国大会へ出場したい。

【指導者の話】

- ・選手の自主性を伸ばしたい。試合に勝ち負けは大事だが、子どもの成長をしっかり見ていきたい。個人ノートの記録も大切にしたい。

- ・我が子は高校3年になった。コーチ歴は12年。子どもたちにはドッジボールを好きになってもらいたいが、実際には浮き沈みがある。保護者の相談に乗っていきたい。人間的な成長を大事にしたい。

- ・U15は部活動の受け皿になっている。他校の生徒も受け入れ、交流も大事にしている。

- ・兄が元気キッズの選手。自分は3代目ドリームキッズの選手だった。こうして徳間ドッジ愛好会が続いていることが嬉しいし、感謝している。厳しい練習をやり切った時の達成感、辛いことを乗り越えた時の充実感を味わってほしい。やってきて良かったと思える時が必ず来る。

- ・8年前からドッジに関わってきた。あいさつ、友だち関係が大事。ドッジが大好きという気持ちが根底になる。

- ・ドッジボールを通して子どもたちに関われることが嬉しい。

- ・ドッジボール大好きという気持ちをサポートしたい。日々上達する子どもと一緒に自分も成長したい。

- ・我が子は毎回の練習を楽しみにしている。いっしょに楽しみたい。

- ・昨年からドッジボールに関わっている。皆さんの熱量をすごく感じた。真剣勝負のお手伝いをしたい。
- ・辛い時に…一歩踏み出せるようにサポートしたい。
- ・我が子も可愛い、他人の子も可愛い、みんなチームの子。困った時には助け合い、悲しい時は慰め、嬉しい時は共に喜び、支えあって成長したい。
- ・監督としては試合のメンバー決めに悩む。①実力、②練習参加率、③態度…を考慮して選手起用したい。疑問質問は遠慮せずに申し出てほしい。
- ・トラブルは目と目を合わせて話し合う。相手を認め合う。30周年に向けて、しっかりチームを作っていきたい。